

そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

2015(27)年 週 報

7月26日
第4聖日
第3414号

「苦難の栄光」

聖言

ですから、私があなたがたのために受けている苦難のゆえに落胆することのないようにお願いします。私の受けている苦しみは、そのまま、あなたがたの栄光なのです。エペソ3:13

礼拝の恵み 第二一章
第八節 礼拝の障害 (つづき)
第六節 分派心
分派心というものは、神のすべての民を自分の思考と視野の中に含めようとし、狭い、盲目的な党派根性の意味である。小さな信者の一団の注意の焦点を合わせて、その信者たちを主の選民と呼び、ほかの信者で、ほんとうに新しく生まれた信心深い信者で、信条も健全であり生活も道徳的である人々を排除してしまう。主の民をこのように区別することは御霊の一致を事実的に否定することである。それゆえに、それは神の御目には憎むべきものであり、従って、礼拝への障害の一つである。分派心を育てるといふ罪を犯していたコリントの信者たちに、パウロは「わたしたちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血にあずかることではないか。わたしたちがさくパン、それはキリストのからだにあずかることではないか。パンは一つであるから、わたしたちは多くいても、一つのからだなのである。もんな者が一つのパンを共にいただくからである。」と書いた。このように、杯とパンとは、われらのためのキリストの犠牲の象徴であるばかりでなく、すべての真の信者たちが一つであることを言っているのである。分派心の考えの全てを責め、それが恥ずべき事であるのを示すには、これで十分であろう。そして事実、かかる一致を可能にして下さるために死んでよみがえられたかたの御目からみてその通りなのである。(「礼拝」ギブス)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年七月一九日午前一〇時 礼拝 山本牧

「苦難の栄光」

「ですから、私があなたがたのために受けている苦難のゆえに落胆することのないようお願いします。私の受けている苦しみは、そのまま、あなたがたの栄光なのです。」（エペソ三ノ一三）

祈り

一期一会とありますように、すべての営みは最初で最後かも知れません。愛する兄弟姉妹と囲んだ楽しい食事も、またいまおこなっている礼拝も、この瞬間、瞬間が走馬灯のようにおこなす、永遠の中に描かれる一コマであります。ゆえに、ないよりもまして、大切に感謝をもつて、うやうやしく、また、喜びと信仰をもって礼拝をおささげできるように聖霊を注いでください。願わくば、まだ経験されていない方に聖霊のバプテスマを夕立のごとく注いで下さい。今だからって体験したことのない、信仰体験をさせて、主イエスをまますます、大好きになるように、聖書がますます大好きになるようにしてください。そして、伝道することが喜びと使命となるようにしてください。戦争法案が可決して日本人が外国人を殺し殺される時代に、イエス様のように、パウロのように、苦難の中にこそ、神様の福音が多くの人々の心にとどくことが出来るようにしてください。主イエス様のお名前によりお祈りいたします。アーメン

教会成長と存続は緊急課題です。社会のカナリヤのような存在の教会は社会の何十年先の姿を現わしています。紺本先生の関係ない人がこの教会を継ぐのか。現代人は聖書の話に拒絶反応を持っている。だから、面白い話にする話になる話短く簡

単に話す。教会を思つての貴重なご意見です。私は問題の大半は牧師の霊性と考えています。もう一つは教会の私物化であります。教会は牧師のものか。一部の信者のものか。そうでありません。イエス様の教会であり、全信者の教会であり、イエス様を求める方々のものであり、地域のものであります。この教会が神様の栄光の宝です。

そのためにはなにをなさなければならぬでしょうか。企業の経営戦略をとりいれていくべきでしょうか。教会が合併して維持するべきでしょうか。デイサービスを参考にして、教会の空間を利用して地域のサロンとするべきでしょうか。70年の歴史を活用して教会信者の家族と関係者を優先的にする。

牧師と共に働く有能な同労者が与えられる。どれもこれも大切であります。しかし、それよりも、重要なことは、聖書の中にある教会成長の秘訣です。

パウロは囚人でありました。自由の束縛された、命と人権さえ無視された中にありました。だから、後継者がいないとか、現代人に応じた話をしなければだめだという悠長な場合でないのかかわらず、教会はどンドン、救われる人々が起こされました。聖霊のバプテスマが毎日のように個人的に与えられました。それは悩みの中にこそ神様の栄光が表されるのです。その代表は十字架のうえにこそ、あの当時、一番残酷で目を背けるような死刑の道具に神の栄光が現れました。その上に神の御子が磔にされたのです。ゆえにわたしたちはこれさえなければ、幸福になれるだろうと考える、自分自身の棘を誇りましょう。極端な言い方ですが、感謝しましょう。ヨハネ9章に生まれつき盲人の方がいました。弟子は彼の罪のためですか。とイエス様にお尋ねしました。それはこの人の罪でも親の罪でもありません。神様の業、神様の栄光があらわれるためです。私たちが、おわされた重荷は栄光の冠です。それを通して神様の栄光が輝く出でます。

二〇一五年七月二十九日午後七時 祈祷会 山本牧師
 「驚くべき神の教会③」
 「彼はまた、本堂に面して長さ二〇キュビト、幅二〇キュビトを測って、私に『これが至聖所だ。』と言った。」（エゼキエル四一ノ四）

八月聖成基督教団本部行事計画

- 二日(日) 役員会 礼拝後
- 六日(木) 納骨堂掃除 午前一〇時
- 七日(金) 月一回の楽しい祈りの集い 午後一時
- 一四日(金) 仮庵聖会 朝、昼、夕
- 二五日(火) 兵庫リバイバル祈祷会 午後一時
- 二八日(金) 大日丘集会 午後五時
- ※ 会計役員 山村姉 榎原姉 庄司姉

仮庵聖会

日時 八月一四日(金)

場所 本部教会

聖書箇所 再臨と聖潔聖会(テサロニケ)

- 一四日 午前一〇時 山本牧師
- 午後二時 足達牧師
- 午後七時 西田牧師
- 食事代 昼と夕 千円

八月召天会員

二日	中野澤 博兄	九周
十一日	早瀬 初代姉	一七周
十一日	早瀬 潔兄	八九周
十二日	山本 広吉兄	三四周
十二日	諸岡 花恵姉	二〇周
十四日	早瀬 和恵姉	七四周
十四日	中島浅太郎兄	六八周
十五日	兼田 ハル姉	二一周
十六日	田村利加子姉	三一一周
十九日	尾田 京子姉	七二周
二一日	白数 圭助兄	三一一周
二二日	濱田 ミフミ姉	九周
二三日	後藤 好枝姉	八周
二四日	北田アヤコ姉	百九周
二五日	片山 忠男兄	三三周
二六日	樋口 晴恵姉	一八周
二六日	津田さよ子姉	八周
二七日	富山 艶子姉	一九周
二八日	河田 梅野姉	六六周
二八日	紺本 妙子先生	一九周
三一日	紺本 忍兄	七一周

一、	黄金	聖句	(二)	小段	姉
一、	礼	拝		午前一〇時	
一、	司	会		小段	姉
一、	奏	楽		小村	姉
一、	賛	美	歌	五六	四七
一、	主の	祈り		八	五六
一、	詩篇	交読		庄	司姉
一、	祈	禱		一	姉
一、	賛	美	歌	小段	姉
一、	聖書	朗読	(エペソ三ノ八〜二二)	五	七
一、	聖	歌		山本	牧師
一、	説	教		二	姉
一、	賛	美	歌	五	四
一、	感謝の	祈禱		牧	師
一、	頌	栄		五	七
一、	祝	禱		二	姉
一、	報	告		五	七
一、	聖	歌		二	姉

七月二六日(第四聖日)

礼拝アシスタント 小段姉

一、黄金 聖句 (二) 小段 姉

一、礼 拝 午前一〇時

一、司 会 小段 姉

一、奏 楽 小村 姉

一、賛 美 歌 五六 四七

一、主の 祈り 八

一、詩篇 交読 庄 司 姉

一、祈 禱 一 姉

一、賛 美 歌 小段 姉

一、聖書 朗読 (エペソ三ノ八〜二二) 五 七

一、聖 歌 山本 牧師

一、説 教 二 姉

一、賛 美 歌 五 四

一、感謝の 祈禱 牧 師

一、頌 栄 五 七

一、祝 禱 二 姉

一、報 告 五 七

一、聖 歌 二 姉

礼拝後の集い

一 礼拝後

① 恵みの証

② 聖書の基本原則

食事係り 大内姉 小段姉

礼拝会計 庄司姉 榎原姉

来週聖日案内

(八月二日午前一〇時)

1、 奏 楽 小村 姉

司会 聖句 庄 司 姉

2、 礼拝祈禱当番

説 教 前 有 志

説 教 後 小段 姉

週報報告一頁庄司姉三頁大内姉四頁小

段姉

七月会計役員 大内姉 小段姉

八月会計役員 榎原姉 庄司姉

来週礼拝予告八月二日(日)

説教 山本牧師

礼 拝「ひざをかかめる」

エペソ三ノ一四

今週の集会

火曜日

神戸リバイバル祈禱会 午後一時

神戸東部教会

水曜日

祈 禱 会 午後七時

「驚くべき神の教会③」

エゼキエル四一係り 小段姉

エゼキエル連講六四回

木曜日

戸別開拓伝道 夕方

会堂掃除 小段姉

男子トイレ掃除 大内姉

女子トイレ掃除 大内姉

早天祈禱会 毎日朝六時

伝 道 随時

第(四)回癒し五〇日連続祈禱最終

六月一日(木)〜七月三〇日(木)

午後一時〜午後二時半(祈りの後、楽

しいティーで休憩)

場所 教会(階を軽に)参加して共に祈り

ましょう